

2019 年 7 月 17 日

東日本旅客鉄道株式会社

新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーンに合わせて 新潟市内を中心とした「観光型 MaaS」の実証実験を行います

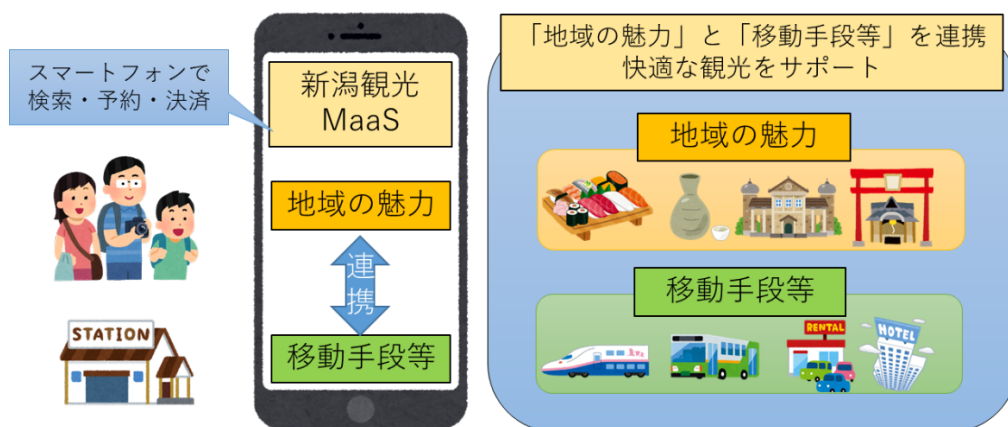
現在、複数の移動手段などの検索・予約・決済を一括してシームレスに行う MaaS(=Mobility as a Service)を地域の課題解決に活用する検討が、国内外で活発に行われています。

JR 東日本では、グループ経営ビジョン「変革 2027」において、移動のあらゆるシーンで最適な手段を組み合わせてサービスを利用可能とすることを目指しております。その一環として、新潟市内を中心とした観光型 MaaS の実証実験を「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」期間に行います。

1. 実証実験の概要

- (1) エリア 新潟市内
- (2) 時期 「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」期間（2019 年 10 月～12 月）
- (3) 実施内容 スマートフォン上で、「飲食」や「観光地」をはじめとする地域の魅力発信と移動手段等が検索・予約・決済できる機能を連携させ、エリア内をシームレスに移動できる仕組みを構築し、その効果を検証します。※詳細は 9 月上旬ころにお知らせします。
- (4) 協力 新潟交通株式会社、新潟市 ※今後順次拡大予定です。

2. 実証実験のサービスイメージ



3. 今後について

JR 東日本は地方自治体および交通事業者等と連携して、今後も継続的に各地におけるサービス内容の充実を目指します。

【参考】JR 東日本の取り組みについて

- ・2018 年 8 月：首都圏における「Ringo Pass」※¹による実証実験を実施しています。
- ・2019 年 1 月：小田急電鉄株式会社との、日々の通勤・通学の際の利便性向上を主な目的とした MaaS 提供に向けた連携を発表しました。
- ・2019 年 3 月：MONET Technologies 社との連携に向けた検討の開始を発表しました。
- ・2019 年 4 月：静岡デスティネーションキャンペーンに合わせ、東京急行電鉄株式会社と連携し、伊豆エリアにおいて、「Izuko」※²による観光型 MaaS 実証実験を開始しました。
- ・2019 年 4 月：技術イノベーション推進本部内に MaaS 事業推進部門を設置しました。
- ・2019 年 4 月：今後、JR 東日本が提供する MaaS において主要な役割を果たしていく「JR 東日本 アプリ」のサービスを一新しました。
- ・2019 年 5 月：仙台圏の観光型 MaaS 構築に向け、宮城県・仙台市との連携を発表しました。

<※1 Ringo Pass 概要>



<※2 Izuko 概要>



※レンタサイクル・レンタカーはリンク経由